

## 内科

# 超音波内視鏡について

超音波検査と聞いてまず思い浮かべるのは、体表に器械を当てて、心臓や胆のうなどの臓器や子宮内の胎児の状態を調べる場面ではないかと思えます。内視鏡に装備された、または内視鏡の中を通した超音波の発生装置を消化管の中に入れて、消化管の粘膜の病変や、消化管に接する他の臓器の疾患を検査することもよく行わ

れています。胃や腸の早期がんが内視鏡治療で取り切れるのか、手術が必要なのか、それを見極めるため、粘膜の病変の深さを正確に診断する際に、超音波内視鏡が重要な役割を果たしています。粘膜より深い層から発生した筋腫や消化管間質腫瘍などの腫瘍、膵臓（すいぞう）など胃に隣接する臓器の腫瘍やのう胞などの診断に

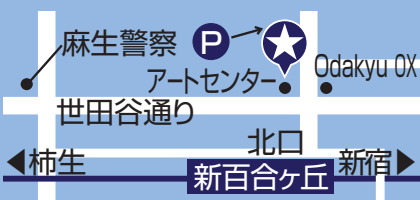
も大変有用です。画像の観察だけでなく、超音波で描出された病変に内視鏡を通して針を刺し、細胞を採取して診断する「超音波内視鏡下穿刺吸引法」にも応用されます。



福本 学

■ 内科

新百合山手福本内科



☎044-955-8877  
麻生区万福寺6-7-2  
メディカルモリノビル2F  
<http://www.fukumotonaika.jp/>